



世田谷稲門会会報

平成21(2009)年8月20日

第 41 号

稲門会 一夫彦行子利
 健邦明秀信尚
 田上島村内子坂
 世岩寺岩大兼宮
 谷 兼宮
 行 兼宮
 人 兼宮
 集 兼宮
 編 兼宮

事務局 〒156-0043
 東京都世田谷区松原5-19-4
 横田吉明方
 TEL/FAX03-3324-7046



(写真は昨年のもたがわ花火大会 大内秀行氏提供)

今年の納涼会は、初めての試みとして玉川ブロック会が担当することになり、八月二十二日(土)に世田谷たまがわ花火大会の見物、翌日(日)の水辺の環境を守るための河川敷周辺を一斉清掃する多摩川クリーン作戦のボランティア活動への参加を企画しました。花火大会には五十六名、クリーン作戦には十五名が参加します。

たまがわ花火大会を見物 玉川ブロック会が主催で納涼会 翌日の多摩川クリーン作戦にも参加

会員増強活動委員の皆様 (総会懇親会: 関連記事 2 面)



早稲田大学高等学院中学部 来年4月開校に向けて準備進行中

母校の今 第15回

早稲田大学は、本学初となる高等学院中学部の2010年4月の開校(予定)に向け、着々とその準備を進めている。中学部の校舎は高等学院(写真=練馬区上石神井の敷地内)に校舎増築のかたちで、来年4月の開校に向け、既に建設工事が始まっている。高等学院中学部の教育目的は、早大建学の精神に基づき、初等教育の基礎の上に高等学院、大学各学部につながる前期中等教育を施し、健やかな心身と高い知性、そして豊かな感性を育み、社会に有為な人材を育成することとされる。中学部の入学定員は、1学年男子120名(1クラス30名・1学年4クラス編成)となっている。

なお、中学部の学校説明会が本年3月8日(日)の第1回目を皮切りに、10月4日(日)の第4回目まで大隈講堂をメイン会場として順次開催されている。早大では初めてのとなる中等教育と高等教育の一貫性の強化・確立に向けた大きな第一歩が踏み出される。その成果に大いに期待したい。

(大内 秀行)



会員五〇〇名目指す 世田谷稲門会総会開催

五月二十三日(土)午後四時からこまばエミナースで一〇六名が出席して開催された。第一部総会ではまず岩上健一會長が「会員数五〇〇名を目指したい。ぜひ各自一名は新規会員を勧誘していただきたい。また若手会員のために新たに青年部会を設立する」と挨拶した。引き続き會長が議長となり、

＊平成二十年度事業活動報告・決算報告
 ＊平成二十一年度事業計画案・予算案
 ＊世田谷稲門会会則改定案
 ＊役員選任(補充)：が承認された。

役員選任(補充)

世田谷稲門会会則改定に伴う役員(補充)「顧問・監事・副幹事長」および荒井清前常任幹事死去に伴う幹事補充で次の方々が新役員及び役職につかれました。

顧問(前会長) 土倉享一(昭和三四政経)

副幹事長(現常任幹事) 島田 實(昭和四〇法)

第二部では元NHK會長海老沢勝二氏に「これからの日本」の演題で講演していただいた。第三部の懇親会はデキシールランドジャズの演奏で会員を迎えた。早稲田大学土田健次郎副總長の挨拶、会員増強活動委員の紹介、叙勲者、新入会員の紹介のあと、藤井秀彦氏(昭和二十九政経卒)の乾杯で懇親会がスタート。

幹事 武居達治(昭和三九法)

監事 山田 昭(昭和五〇政経)

新役員紹介 武居達治



卒業後都銀及び関連会社に

勤務後、母校一二五周年記念事業の推進に携わり昨年五月に終了、併せて勤めておりました会社役員職を今年六月に退任しました。今後は世田谷稲門会のお役に立てればと思っております。

皆様のご指導を戴きながら、会の発展に尽くしたいと念じております。

山田 昭



卒業して三十年余り銀行に勤務をし、現在は都内の私立中高一貫校で総務、財務に携

わっております。母校には今でもオープンカレッジでお世話になっております。既に世間では「アラ還」と言われる世代ではありますが、まだまだ未熟の身、皆様のご指導を仰ぎながら精一杯頑張らせて頂きたいと存じますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

世田谷稲門会・平成20年度決算報告書及び21年度予算

項 目		20年度予算	20年度実績	21年度予算
前期繰越金	①	693,638	693,638	590,868
年会費	②	1,200,000	1,063,500	1,359,000
(うち新入会員分)				(うち300,000)
総会 会費	ア	700,000	718,000	800,000
納涼会 会費	イ	1,000,000	620,000	640,000
新年会 会費	ウ	850,000	1,064,000	1,200,000
ア～ウ小計	③	2,550,000	2,402,000	2,640,000
組織強化補助金	エ	335,000	336,000	330,000
雑 収 入	オ	0	1,200	0
利息収入	カ	1,200	1,039	1,000
エ～カ小計	④	336,200	338,239	331,000
収入合計①②③④		4,779,838	4,497,377	4,920,868
総会費用	a	700,000	707,800	800,000
納涼会 費用	b	1,000,000	616,000	640,000
新年会 費用	c	850,000	943,536	1,200,000
a～c 小計	l	2,550,000	2,267,336	2,640,000
総会等 予備費	d	50,000	0	50,000
総会等 講師謝礼	e	200,000	110,000	200,000
新入会員増強活動費	f			200,000
d～f 小計	ll	250,000	110,000	450,000
諸 経 費				
部会ブロック会援助費		100,000	85,000	160,000
校友会23区活動費		200,000	122,939	200,000
125周年寄付金		100,000	100,000	0
会報作成費		500,000	499,800	550,000
名簿作成費		100,000	100,000	0
事務運営費		100,000	69,529	100,000
ホームページ関連費		60,000	18,825	60,000
会議費		300,000	225,517	250,000
事務用品費		80,000	103,669	100,000
通信費		200,000	145,660	150,000
雑 費		80,000	58,234	60,000
諸経費小計	lll	1,820,000	1,529,173	1,630,000
支出合計I II III		4,620,000	3,906,509	4,720,000
次期繰越金(収入-支出)		159,838	590,868	200,868
合 計		4,779,838	4,497,377	4,920,868

(単位:円)

20年度実績
 次期繰越金内訳: 小口現金 3,333 普通預金397,440 郵便貯金190,095
 新年会 会費 : 当日入金72,000 を含む

海老沢氏の講演要旨



海老沢勝
二氏は総会
での講演で
「長年マス
コミに携わ

てきた者として多少、床屋政談的になるが」と前置きして、最近の政治・経済社会の情勢について以下のように述べた。

マスコミの立場からみると、日本では政治についても経済についても楽観的な論調は一般受けしないように思う。一部マスコミ評論家などが民放のワイドショーなどで、繰り返して悲観的なコメントを出す影響もあるのだが、政治・経済は生き物の確に予測するのは難しく、早々と断定的に物事を捉えるのは危険である。

ひとつの動きに対しても、幾通りにも考えて、自分なりの見解をもつことが肝要だ。現在、取り沙汰されている「政権交代はあるか」「新型インフルエンザの流行」「アメリカ発世界同時不況」などの問題の捉え方にも冷静な判断が必要だ。

政権交代については、予測は難しい。民主党前代表の小沢一郎氏は、勘の良い決断力のある

人物で、民主党をここまでひっぱってきた。その言動は隠密的であるとさえ評され、本音は漏らさない。

もともと本音は口に出すものではないのだ。当節の若い記者は、相手に密着し相手の心を読むことをしなさい。本音とは朝から晩まで付き合っ、一寸したことからつかみ取ることが出来るようなもの。

「百年に一度の不況」という言葉もマスコミのあたり過ぎて、そこまでの不況ではない。歴史的にみれば不況は四〇年ごとに起きている。インフルエンザについても同じように考えられる。マスコミのあたりたてには乗らないことだ。

これからの政治家は百年後のビジョンを持ち、国民に希望をもたせることが必要だ。化石燃料に代わる太陽光発電の開発、人材の育成、海底資源の開発、農業の自給率アップ、アジアの国々との友好に努め、孤立しないこと、などが課題だ。

日本人は総じて情報を大切にしない。政治家は良い情報を、しかもたくさん集めることが大切だ。それではなければ良い判

断をすることはできない。真の情報とは、一対一で、口から口へと伝わるもののみ。人に会わなければ何も進まない。人に会って議論を進める、その議論が進むように勉強しなければならぬ。本を読み、人に会い、旅をすること。情報はひとたび活字や映像になったら、情報としての価値はなくなる。

HP全面リニューアルへ 情報提供のご協力を

世田谷稲門会ホームページ(以下HP)は、事実上ひとりで担当されてきた荒井清さんの突然のご不幸で、この春以来、その運営が中断を余儀なくされてきました。しかし、技術的問題などがようやく解決する見通しとなり、これを機に新体制でHPを運営し、掲載内容も一新して全面的にリニューアルを図ることにしました。

運営の主体となる新体制は当面パソコン部会のメンバーによってHP編集委員会を構成し、コンテンツの編集・制作から公開まで組織的に継続して取り組むとともに、この委員会が編集責任の委任を当会から受け、公式HPとしての位置づけをより鮮明にすることに

ネットによる情報は雑報ときえ言える。

最後に海老沢氏は、現在力を注いでいる大隈重信生誕の地、佐賀県唐津に来年四月に開校予定の早稲田大学系列中高一貫校「大隈記念早稲田佐賀学園(仮称)」での人材育成に大きな期待をかけていると語った。

(兼子 信子/記)

しました。

新たに設定する編集基準と倫理規定は会長名で公表しますが、以下はその案です。

- ①以下の情報は掲載しない。
著作権法を含め法律に触れる恐れのある情報
公序良俗に反する情報
人権侵害のおそれのある情報
個人への誹謗中傷、差別助長につながる情報
特定の政治活動、宗教活動、その他イデオロギーなどの宣伝に関わる情報
営利目的と判断される情報
その他編集委員会が不適切と判断する情報
- ②個人情報に関わる情報は慎重に扱う。
- ③個人の顔写真の掲載は肖像権やネットの特性などを慎重に配慮して編集する。

④会員の「掲示板」などのコーナーは編集委員会を経た上で掲載する。

⑤他のHPへのリンクは必ず相手先の了解を取る。

新HPの内容改定の柱は次の三点です。

①世田谷稲門会のプロフィールを紹介するコンテンツを大幅に拡充。

②会の活動やお知らせなど最新の情報を更新するとともに大学や校友会本部の最新情報を適宜盛り込みニュース性を強める。

③趣味の会、ブロック会の活動紹介や会員への最新情報の提供など、各部会の積極的な協力を得ながら情報量の拡充を図る。

新HPは稲門会全体のものとして、改めて体制を見直し長い目で育ててゆくべきと思えます。

今後のサポート、特にコンテンツ充実のための情報、素材の積極的なご協力を皆さんにお願いいたします。

素材を収集する専用のメールアドレス
setoupa@nifty.com を設定しました。

(パソコン部会HP担当

菊池 吉晏/記)

部会だより

パソコン

3月下旬代表世話人荒井清氏の急逝に遭遇し、また本年度より本部の要請を受けて世田谷稲門会公式ホームページ（HP）の運用をボランティア活動として担うことになりました。これに伴い世話人体制を（代表）岩城好宏、（企画）上田忠雄、菊池吉晏、高橋昇三、（会計）高橋毅、（監査）竹村晃の各氏に決めました。4～6月開催された月2回の部会は従来の勉強会より離れ、その大半がHPリニューアルの検討会となりました。目下、報道機関出身の菊池さんをリーダーに常連会員が今秋の再開に向け準備作業中です。また教室には本部より借用の新ノートパソコン1台を配備しHP専用に活用中です。6月にはインターネット無線LAN各自対応の環境整備も完了致しました(写真)。

7月からの部会開催は毎月第2・第4火曜日13:30～14:30（HP関連検討会）、14:30～16:30（勉強会）となります（8月は休会します）いずれHPへの対応も全会員が編集委員会の一員ということで勉強会の教科対象と考えています。なお、紅葉の時期には温泉教室（？）を計画中です。パソコンに多少なり興味をお持ちの方、経験技量に関係なく奮ってご参加下さい。ご希望の方は世話人までお気軽にご相談下さい
(岩城 好宏/記)



芸術・芸能鑑賞部会

『楽しんで一年、世界の音楽・芸術をより深く』

7月で発足一年を迎えた[芸術芸能鑑賞部会]は、この一年で6回の鑑賞会案内を行い、25に及ぶイベントの紹介が出来た。お蔭様で毎回多くの会員・家族・友人の皆さんのご参加を頂き、鑑賞会の当初の目的である日本の伝統文化・芸術や世界の音楽・芸術に親しむ機会をもつことが出来た。今後は更に、より幅広く、そして深く鑑賞できるチャンスを作りたい。一年間をまとめると、歌舞伎と文楽、舞台鑑賞がそれぞれ1回で、その他では音楽鑑賞会が多数を占めた。参加者数から見ると、矢田ちひろさんの「ピアノリサイタル」、文楽鑑賞会、歌舞伎鑑賞会、花田さんの「懐かしの映画音楽アルバム」が上位を占めた。発足時に23名の会員も7月には32名に増えている。



今後の予定は、10月に歌舞伎鑑賞会、2月に文楽鑑賞会、4月に落語会、音楽関係は適宜案内したい。現在決定済みのイベントは花田さんの9月5日「懐かしの映画音楽アルバム」、10月23日「るたんフェスティバル」、9月30日の「三越落語会」、金さんの10月14日「バロック音楽の夕」などがある。なお、7月17日に鑑賞会の総会を行った（20名出席）。皆さんの新規入会を歓迎いたします。

世話人：柏良子 麻生卓司 鈴木宏治
申し込み先：鈴木 TEL/FAX 03-3307-2201

(鈴木 宏治/記)

釣 り

老いてますます釣りが好きになる。楽しからずや。

4月26日（日）真鯛釣り。潮来ICを下り神宮橋を渡り右に折れ鹿嶋港に向かう細での乗込み鯛釣り。既に何枚かの尺鯛を釣り上げていた。柴田32号の大鯛を釣る。3名。

4月29日（祭）真鯛、アジ釣り。松輪沖へ利一丸より9名参加。55号を含め2枚釣ったのは、森さんのみ。しかし最近有名になった松輪大鯖・大アジでクーラー満杯。

5月10日（日）真鯛、アジ釣り。松輪沖へ利一丸より7名参加。4月同様、国澤さんのみ真鯛55号を釣る（写真）。

5月30日（日）狩野川にて鮎友釣り。2名参加。追い悪く、しかも鮎が小さい。清水さん3匹。今後に期待。夕刻地藏堂川に移り、溪流魚ねらう。岩魚40号を頭に2名で13匹。夜の小岩魚の骨酒は最高に美味でした。

6月26日（金）地藏堂川にてアマゴ31号、29号釣る。

6月27日（土）下田光明丸にて下田沖イサキ釣り。金子氏連チャンで50匹宛釣る。刺身、干物最高に美味でした。

6月28日（日）茅ヶ崎沖、沖右衛門丸よりキス釣り。仕立にて10名参加。潮早く、濁りもあり、竿頭中山氏30匹。

（今後の予定 7月10日現在）

7月18日 千葉花見川にてハゼ岡釣り。渋谷三水集合。

＃26日 劔崎沖喜平治丸にてスルメイカ釣り。

8月 1日 千葉湊川にてハゼ岡釣り。アクアライン経由。

＃16日 江戸川行徳にてハゼボート釣り。伊藤遊船。

＃23日 金沢八景黒川よりキス・カサゴ釣り。仕立。

9月27日 松輪沖イナダ釣り。間口港利一丸仕立。

(柴田 昇/記)



写 真



6月18日(木)、例会が実施されました。毎回風景を中心にした作品の発表が多く、今回も外国旅行での撮影風景がありました。高橋毅さんが韓国の世界遺産の紹介で写真と解説があり、岡田吉郎さんが奥多摩のお寺の境内での花を中心にした写真、浮田靖彦さんの花の写真、守谷之男さんのアジサイを中心にした花の写真、小池福子さんの東北の新緑のブナと霧の写真、川村保夫さんの横浜の帆船と町のスナップ、種谷鴻成の東北の新緑のブナ林の

写真で、各自A4サイズまたはA3サイズで10枚~15枚ぐらいを白板に貼って説明し、その周りを囲んで作品を觀賞しました。いずれも特徴があり見ごたえのある例会でした。例会を続ける事でレベルアップをしています。写真を撮る事に興味がある方で作品を見たい方はご来場歓迎します。写真は例会風景です。

今後の例会の予定は7月16日(木)、8月はお休み、9月17日(木)、10月15日(木)、11月19日(木)、12月17日(木)です。

(種谷 鴻成/記)



麻 雀

当部は部員の方々の熱烈支援のお陰で6月に第100回記念大会を盛大に開催し、ささやかな記念品をお配りしました。母校にあやかり125回目も記念大会にする予定です。

1. 3月15日(日)、穏やかな春の一日、祖師谷大蔵駅徒歩3分の麻雀荘「天狗」(以下会場は同一)にて34名の紳士淑女が集い、四角なジャングルでサバイバルゲームを演じた。試合は初回からダッシュした河内氏が必死に追いつがる高橋、吉村、蒲原各氏を突き放し初めての優勝を飾った。優勝：河内文雄、準優勝：高橋毅、3位：吉村善智、4位：蒲原信一、5位：桃井清治、6位：奥田隆

2. 4月18日(土)、新年度初ということで参加者は25名と少なかったが、試合は優勝から3位までの点差が5点と手に汗握る熱戦となり、人生経験豊富な草野氏が肉薄する脇坂、蔭山、宮木各氏を振り切り辛勝した。優勝：草野昭次、準優勝：脇坂元彦、3位：蔭山康夫、4位：宮木甫、5位：田島功統、6位：有利純太郎

3. 5月17日(日)、室内に居るのがもったいない一日、29名の猛者が集い、口と腕で熱戦を展開した。試合は高橋氏が初回からエンジンを全開し、毎回トップと当部始まって以来の165点を叩き出して2位以下をダブルスコア以上で下し、久し振りに完全優勝した。優勝：高橋毅、準優勝：脇坂元彦、3位：小河原泰、4位：奥田隆、5位：田島功統、6位：飯田保則

4. 6月13日(土)、第100回記念大会を祝うかのような好天に恵まれ、賞も何時もより奮発したせいもあり、33名の善男善女が卓を囲み死闘を演じた。試合は初回躓いた橋本氏が以降頑張り、後半尻上がりに実力を発揮し、追い上げてきた河村、阿部、宮木各氏を接戦の末退け、久し振りに優勝を遂げた。優勝：橋本大道、準優勝：河村卓郎、3位：阿部信之、4位：宮木甫、5位：小河原泰、6位：下谷内堯

(下谷内 堯/記)

スポーツ観戦

東京六大学野球春季リーグ戦は法政大が6期ぶりの優勝を決め、その後の早慶戦となりましたが、5月20日の1回戦に福島からの校友8名の参加者を含め30名が観戦しました。当日は開門時刻が遅れたものの、前



日からの雨も試合前には上がり、絶好の観戦日和となりました。試合は斉藤投手が今季初完投の好投で5対1の完勝でした。正捕手が練習中の負傷のため、3年ぶりに早実時代の白川捕手との黄金バッテリーでした。早大は4回宇高の左翼越えの二塁打で2点を先制し、5回にも犠打などで3点を追加して試合を優勢に展開しました。今シーズンは近年になく優勝に関わらない早慶戦でしたが、秋季リーグの優勝奪回が期待されます。

(岸田 正和/記)

食べ歩き

(1) 2月21日、第39回例会を開催。参加者39名。赤坂「たけがみ」の優雅な個室で旬の食材をふんだんに使った季節懐石料理と最高級のそば粉を使った手打ちそばを味わい、本格的な料亭の気分を十分に楽しんだ。岸田正和氏の司会で進行。初参加の宮木甫夫妻、高橋昌久夫妻の自己紹介があり、続いて大須賀肇代表世話人の挨拶並びに会務報告があった。佐野暢彦氏の乾杯の音頭で開宴。各地の著名な陶芸家の窯元直送の器が季節に合わせた料理を多彩に演出し、料理が酒を引き立て酒がこだわりのそばを引き立てて、歓談は弾み最高に盛り上がった。宴たけなわのころ、出席者から活発な発言があり、懇親は深まった。散会後は各自変貌する赤坂地区の街並み、赤坂サカスやTBS等の見学、散策を行ったが、その変化を見て今更ながら今昔の感にたえなかった。



(2) 3月29日、第40回例会を開催。参加者24名。成城コルティ4F「シェ松尾」で高尚なフランス料理を賞味し、高級ワインを堪能した。日光が明るい窓から降り注ぐゆったりした雰囲気のある個室で、荘司真恵さんの司会で進行。司会者よりレストランの説明の後、大須賀肇代表世話人の挨拶並びに会務報告があった。水島豊氏の40回目の例会開催への謝辞、乾杯発声で宴は始まった。「フレンチは会話を楽しむもの、料理はワインで完成する」と言われるように歓談は尽きることなく、会場は最高に盛り上がった。あっという間に閉会時刻となり、岸田正和氏の中締め挨拶で散会。その後、各自開花が遅れようやく五分咲きの成城学園付近の花見を楽しみ、しなやかに咲き始めた桜並木のトンネルや穏やかに優雅な佇いの成城の街を散策した。(大須賀 肇/記)



カラオケ

第38回カラオケ部会を3月22日(日)、三軒茶屋の「カラオケ館」でレッスンプロの牧内憲男氏を招いて開きました。牧内氏は昭和39年政経卒で、ニューオリンズ等でジャズを修業され、現在千歳船橋「カラオケの店らんぷ」で歌い方教室「夢友塾」を運営しています。愉快で気さくなワセダマンで、ジャズに捉われずなんでも的確に教えてくれます。当日は中野稲門会カラオケ部会長の武部道雄氏を含め21名が参加、4部屋に分かれ牧内レッスンプロが各部屋を巡回、全員がそれぞれの持ち歌をワンポイントレッスンしてもらい大変有意義な一日でした。

第39回カラオケ部会のカラオケ温泉旅行を5月31日(日)～6月1日(月)、熱海の景勝地「錦ヶ浦」に建つ「ホテルニューアカオ」で行いました。参加者は11名。夕食はメインダイニング「錦」でのニュージーランドの歌手によるディナーショー、話もはずみ大変楽しいひと時を過ごしました。7時半～10時半、サロンを借り切ったのご当地クイズ大会とカラオケ大会は飲み放題、食べ放題で歌いまくった熱海の夜でした。翌日は快晴、当ホテル所有の「アカオハーブ&ローズガーデン」に行きました。丘の上から見た相模湾に浮かぶ初島、また今が盛りバラやカモマイル、レモングラスのハーブなど目と香を楽しませてくれました。昼食は駅近くの海鮮料理屋「雑魚屋」で海の幸を頂き解散しました。(清水 明雄/記)

ウォーキング

4月12日は成城学園から富士見橋、慶元寺、岡本民家園に立ち寄って往事の生活様式を懐かしみながら用賀まで歩きました。5月10日は中仙道第1番目の宿場町板橋周辺を歩き、途中「いたばし観光センター」にて茶菓の接待を受け、参加者一同大喜びしました。その時の記念写真をご覧ください。5月19日は、江ノ電長谷駅から、地元稲門会の吉澤忠雄さんのご好意による案内で、御霊神社(歌舞伎『暫』で有名)、成就院(紫陽花で有名)、日蓮袈裟懸けの松跡、十一人塚、稲村ヶ崎の山頂、七里ヶ浜へと定番の鎌倉歩きとはぐっと趣が変わったコースを歩き大いに満足する一日となりました。6月14日は小田急粕江駅から明静院、八幡神社、慶天寺、氷川神社などの神社仏閣を訪ねながら、喜多見駅まで5kmの散策を楽しみました。

今後のウォーキングのスケジュールを紹介しますので、ぜひ気軽に参加してみてください。いずれも5～6km位ののんびりウォーキングです。

9月13日(日) 下町散歩：江戸のある街谷根千、国際子ども図書館、藝術大、根津神社、谷中へび道、さんさき坂、よみせ通り、谷中霊園、

10月11日(日) 武蔵野文学散策コース：禅林寺、玉川上水、独歩の森、石碑、五日市街道、小金井公園

10月25日(日) 奥多摩動物園めぐり：哺乳動物150種、昆虫類160種を鑑賞

11月8日(日) 隅田川七福神めぐり：牛島神社、三囲神社、公福寺、長命寺、向島百花園、多聞寺

連絡先：江原 利次 電話/FAX：03-5760-7118

メール： toshi@r01.itscom.net

(江原 利次/記)



ボウリング

世田谷オークラブオウルでの渋谷稲門会との合同開催も早や12年目を迎え、毎月1回、お互い声援を送りながらの楽しい投球を続けております。最近の実績は次の通りです。

3月8日(日)、参加者11名。153点：宮木甫、123点：高橋善一郎(得点120点以上)。宮木さん、高橋さん体調回復しての久しぶりの参加、共に素晴らしい投球を披露しての大健闘。

4月12日(日)、参加者10名。174点：天野善弘、150点：高橋昌久。天野さん、スピード、制球力ともに抜群、6ストライク、3スペアを出しての完璧な投球！高橋さん(45年理)は入会直後の奥さんを同伴しての初参加で、10数年ぶりの投球とか。回を追って昔の感覚を取り戻しストライク、スペアを連発しての高得点にはビックリ！

5月24日(日)、参加者6名。138点：佐山順孝。この日は参加者少なく、佐山さん、安定した快調な投球を見せての独り舞台。

6月は後半の日曜日が団体貸切多く、レーンの予約とれず休会。最近のボウリング場は、特に日曜日、家族連れや若者達のグループが多く、また高齢者も運動不足を解消し健康増進に役立つということで競技者が増加している。ボウリングは全く経験のない方でも気軽に始められるスポーツ。終わって近くのレストランで昼食を共にしながら四方山話に花を咲かせるのも楽しみのひとつ。皆さん思い切って始めてみませんか。ご参加お待ちしております。(武藤 哲/記)

ゴルフ

今シーズンも4月初旬の第58回中津川CCに於けるコンペ開催により、例年に劣らず賑やかな幕開けとなりました。参加ご希望の方が多くキャンセル待ちの状態でしたが、幸い皆様にご参加いただけるようになり、世話人一同ほっと胸をなでおろした次第です。しかし、開催日前夜には雨、風、雷、朝には寒さの再来となりましたが、ラウンドを重ねるうちに暖かな春の陽光を浴びながらの快適な一日となりました。桜は3分咲きで残念でしたが、プレーは各部門で熱戦が繰り広げられました。今期後半戦も素晴らしきグリーンを大いに堪能出来ると期待します。

続いて第59回は初めて都留CCにての開催となり、若干梅雨前を思わせる曇り空の下に、雄大な赤松林に広がる手ごわい18ホールへの挑戦となりましたが、さすが世田谷稲門会の腕利きは見事アンダーパーにて優勝を飾られています。コンペ終了後の表彰式パーティーでは優勝者、初参加者等のスピーチをはじめ、和気藹々と部会員の懇親が深められました。

今期2戦の結果を下記いたしますと共に、今後の予定をお知らせしますので、皆さまのご参加をお待ちいたしております。

○第58回 4月2日(木) 中津川CC、参加者46人。優勝者 総合：近藤国紀さん、Gシニア：平井恒夫さん、シニア：土倉享一さん、レディース：森春野さん

○第59回 6月3日(水) 都留CC、参加者41名。優勝者 総合：倉田富士男さん、Gシニア：水野義一さん、シニア：守屋寧夫さん、Lベスト：村松久子さん、

○今後の日程

第60回 9月15日(火) ファイブハンドレッドC

第61回 11月5日(木) 飯能GC (熊谷 慶紀/記)



左より
近藤さん、平井さん、森さん、土倉さん



左より
守屋さん、村松さん、水野さん、倉田さん

囲碁将棋

第35回将棋の会合宿 鬱陶しい梅雨の長雨のなか6月28日(日)、世田谷区内上用賀に所在する社会福祉法人老人休養ホーム「ふじみ荘」にて、第35回囲碁の会を1泊の合宿で開催した。10時に集合し、まずは朝風呂へ。ここの風呂は、近くにある世田谷区のごみ処理場の燃料で沸かしたお湯を引いているが、大風呂の設備も行き届いており、綺麗で快適である。今回初参加の池松正之6段と久保宏氏以下参加者総勢12名。常連の指南役の志水一夫8段、武藤哲7段、斉藤政二郎6段のほか、大庭克治7段も参加した。上手との対局の場合攻めているつもりが追っかけになったり、逆に相手を固めてしまう場合が多い。序盤で攻めるとはよくいわれるが、攻めの方向を間違わないようにしなければならない。3局程打って昼食。昼からは本格的な対局となる。5時半まで対局し後は懇親会場へ。初参加の方々の自己紹介のあと、囲碁談義。9時頃まで飲みかつ食べ、そしてまた懇談。その後又対局室へ。しかして就眠は午前1時頃になる。翌朝7時に朝風呂へ。8時に朝食後午前中一杯対局し、お昼を食べて散会した。(矢田 廣/記)

第9回オール早稲田囲碁祭 6月6日(土) 9時30分より市谷日本棋院2階大ホールでハンデ戦にて56チームが参加。早稲田大学現役囲碁部を含めて早稲田OBが約300名集まり熱戦を繰り広げた。世田谷稲門会囲碁部からは5名一組が参加し、善戦の結果4位に入賞した。対局の間にはプロ日本棋院初段の下坂美織さんの指導碁があり囲碁祭りにふさわしい充実した一日を過ごした。(矢田 廣/記)

ブロック会だより

玉川

6月6日(土)、玉川会のグルメ会を開催しました。グルメ会は春と秋の年2回ランチの形で行っていますが、地元グルメ情報に大変精通した小山田さんに毎回素敵なお店を手配して頂いています。今回は自由が丘駅から徒歩1分の至近距離にある「ル・ポレン」で開催。非常に美味しいフランス家庭料理が評判のお店です。会員13名と夫人8名の21名の参加となりましたが、毎回出席される奥様に都合による欠席が多かった等のため、いつもより少ない人数でした。12時に浜田代表世話人による挨拶で開会し、岩沙さんの発声による乾杯で開宴しました。最初に運ばれて来たオードブルからボリュームたっぷりで、美味しいワインを飲みながらの歓談となりました。

いつもながらの井澤さんによるユーモアを交えた名司会により進められ、世田谷稲門会納涼会と玉川会総会の案内、初参加の中山さんの奥様の挨拶、江口さんのパリ体験のご披露等がある中、大いに盛り上がりました。メインディッシュを食べ終わりデザートが出るところで“席替えタイム”を行いました。それまでの席を替わるもので、ご夫婦は離れて座る、同じテーブルの人とも一緒に座らないという条件で座り直した後、歓談の輪が広がって更に親睦を深めました。ここで最近転居された小山田さんと林さんに引っ越しの体験談をして頂き、とても参考になりました。お店が貸し切りだったこともあって、スピーチ等も周りを気にすることなく出来て、終始家庭的でとてもなごやかな雰囲気でした。話が尽きない中、小山田さんの締めの挨拶により、お開きとなりました。秋のグルメ会は11月に開催する予定です。

(太田 隆/記)



千歳

4月4日(日)、見学会ならびに懇親会開催

①「神代 植物公園のお花見」と「深大寺本堂の壁画拝観」。13時30分、京王線つつじヶ丘駅に集合、参加者6名。バスで約15分、花と緑のオアシス植物公園へ。数種類の満開の桜にウツリしながらゆっくり歩いて見物。植物会館に入って珍しいバラ、洋ラン、熱帯植物等を鑑賞して深大寺へ。平成16年寺院本堂に設置された釈迦一代記の壁画を住職の案内と説明で拝観、滅多に見られない絵に感嘆！付近を散策してバスで調布の懇親会場へ。

② 懇親会。京王線調布駅前のパルコ7階の中国料理店「唐采」にて17時～19時、参加者13名。45年理工卒の小川稔さんが初参加の自己紹介後、各人から近況報告等あって、脇坂さんからの10分間スピーチ。「漫画家の模図かずおさん新築住宅が異様な外観で閑静な住宅街の景観が破壊される」として裁判になった経緯、「将棋の加藤一二三九段が野良猫への餌をやり始めて居住者が猫の排泄物や鳴き声に悩まされての餌やり差し止め訴訟」等環境関連の問題について面白い話を披露。終わって久しぶりの中華料理に紹興酒等グラスを交わしながらの楽しいひととき。趣味の話、健康法、内外経済動向と株価、昔の思い出話等の話題に時間を忘れての自由な歓談。予定の時間も超過して鈴木世話人より5月総会の催しの内容説明と出席の要請あり。次回秋の元気な再会を約して散会、名残を惜しんで帰路につきました。

(武藤 哲/記)

きぬた



今年の第1回目の催しとして、5月13日(水)ラグビー愛好者のための“ミニ・きぬた会”を成城の「デギュスタシオン」で開催しました。ゲストスピーカーは昭和31～33年次のS・O小山俊次氏。卒業後も“ラグビー中継”のディレクターとして、ラグビーを見続けられた氏の“ワセダ・ラグビー観”を伺いました。お話のあとは、ビールとワインにイタリア料理で盛り上がり、質問も飛び交って楽しいひとときを送ることができました。ご案内が届かなかった方々には申し訳ありませんでしたが、半面こういった“特化”した「催し」もアリかな、などとも考えています。

(吉村 豪介/記)

西 北

- ① 【訃報】 何時も大変お元気で必ず西北会の会合に参加されていた齊田秀雄氏（27年政経）が検査入院という事で入院中、去る4月29日急逝されました。世田谷区指定無形民俗文化財「三土代会」の世話人としてご活躍され、会報31号にその活動を寄稿されました。何時も静かに笑顔で焼酎を飲まれていた姿が目には浮かびます。享年79歳。心よりご冥福をお祈りします。合掌。
- ② 当会には世話人を支えるサポーター会という集まりがあり、若手（？）世話人を支えて頂いております。何時もは飲み会なのですが、今回はゴルフをやろうということになり、5月27日長竹カントリーに於いて数年ぶりという2人を交え2組8名で、天候にも恵まれ楽しくプレーをしました。勿論帰宅後、下北沢に集合し反省会の美酒を酌み交わしました。次回は秋ぐらいに部会として発足させ西北会会員に声をかけ、もっと盛大にと思っております。更に麻雀部会も西北雀会として熊谷ちずるさん（熊本昭二氏夫人）を幹事に新たに発足しました。活動も多岐に広がりを見せつつあります。それぞれ参加御希望の方はご連絡下さい。
- ③ 6月5日、会の運営等に関しサポーター会を経営の今はやりのせいろの「蒸し料理」屋さんで開きました。9名の参加でした。
- ④ 6月27日会員拡充キャンペーンの打ち合わせを本部から柏副会長、横田事務局長にもご出席願ひ、当会としても積極的に取り組むべく幹事一同確認しました。
- ⑤ 西北会例会を7月24日（金）夜、何時もの参宮橋代々木倶楽部で開催しました。詳細は次回ご報告します。（松浦 晋三郎/記）

キャロット

6月6日（土）午後6時より三軒茶屋の「燕来香」でキャロット会の懇親会を開催しました。さくら会の前原祖彦さんもお出席戴き、総勢14名集まり、楽しいひとときを過ごしました。午後8時30分、次回11月28日（土）午後6時から三軒茶屋キャロットタワー26階スカイキャロットでの忘年会開催を決議して散会しました。



6月24日（水）午後7時より銀座の「ナッシュビル」でキャロット会のカントリーウエスタンを聴く会を開催しました。参加者7名でしたが、ライブの音楽を堪能しました。たまには三軒茶屋を離れた会も良いとの声もあり、機会があればまた、企画したいと思います。

また、来年4月4日（日）午後2時から三軒茶屋キャロットタワー1階シアタートラムで「第2回稲門寄席」を開催します。出来れば、早稲田大学に関係のある落語家、色物の方をお招きしたいと思います。

（富塚 兆弥/記）

さくら

第18回さくら会を6月7日（日）11時半から桜新町のイタリアンレストラン『ラピアンタ』で定例会を開催した。参加者は24名。

① 時節経済寸評 思想は米国の最も重要な輸出品の一つである。減税と規制緩和と小さな政府が成長の原動力になるという考え方に対して、世界の大半の人が米国型民主主義に憧れた。しかしながら、今回の金融危機の元凶は小さな政府を標榜する米政府が金融業界の監督を怠り、社会に多大な打撃を与えるのを放置した結果に他ならないといわれている。グローバルという言葉も、米国型を踏襲するというものであり、そこには、米国が失敗するという懸念が入り込む隙間はなく、次第に日本社会の美風と思われていたものが消えていった。たとえば、従業員を大切にするという企業風土等は失われつつある。「民主主義は最悪のシステムだが、これに勝るシステムはない。」と、かつてチャーチル英首相は言ったが、いまや中国共産党ですら資本主義から逃れられない。資本主義を守るには自由放任主義というイデオロギーから離れ、各国政府が中心的役割を果たさざるを得ない。それが今回の危機から学んだ教訓ではないか。いまや規制を強化し、つぎはぎながら何とか資本主義を守るしかない。米国のことをダメだダメだといっても世界を引っ張ってける国は他にない。

② 『わが人生を語ろう』 今回は柴田昇氏に軽妙なタッチで人生の来し方を語っていただきました。商社マンとして安宅産業に入社され、いろいろと活躍された後、独立、別会社を創立、社長として今日の会社にまで発展させられた功績は大であります。最近では、早稲田大学との産学連携でエコ対策と省エネの技術対策に従事されておられます。ご趣味として、長年に亘っていそしんでこられた釣りの道や将棋の道にも造詣が深く、現在も釣りや将棋の両面において大黒柱としてご活躍中であります。

③ 俳句の道 高橋悦男先生の俳句入門講義の後、新しい会員も若干増えました。江原世話人より説明あり。（矢田 廣/記）

会員のひろば

ポストンマラソン完走記 世界五大マラソン全参加

近藤 国紀(昭三八年商)



私は高校(学院)、大学とワンダーフォーゲル部に在籍し、山野を跋涉していました。今も年に数回は山歩きをしますが、それ以上に走ることに精を出しています。各地のランニング大会に出場し、時間があれば鳥山川や北沢川緑道、駒沢公園等をジョギングし、時に海外のフルマラソンの大会に参加しています。

以下、二〇〇九年四月二〇日に実施された第一三回ポストンマラソンの報告です。

世界五大マラソンはニューヨーク、ベルリン、ロンドン、シカゴ、ポストンで、二〇〇二年

に海外の大会に出てから二〇〇六年でその全てに参加した(シカゴは三回、他にパリ、ローザンヌ等に参加)。ポストンは第一〇九回の二〇〇五年に走り、今回は二回目。

今回はフラフラでゴールし、タイムは五時間二二分。危うく車椅子に乘せられるところであつた。歩いて一〇分位のホテルにやつとの思いで着くと、そのままベッドに倒れこんでしまい、マラソンツアアの完走パーティーに出席出来なかつた。前回のスタートは参加資格の記録を持たなかつたので指定されたブロックは最後方。スタートラインまで二四分かかつた。

今回はスタート時間が一部とその三〇分後の二部に別れ、私は参加資格タイムをクリアしているが二部のスタートでスタートラインまで五分。曇りで気温は七〜八度位か。最初の五キロは下り。セーブして走り三分。抜かれたばなし。胸と背中に KONDO JAPAN



Nと書いた布をつけているので、抜いていくランナーからウエルカム、コンニチハとか声をかけられる。

私のペースが遅いので完走できないと思つたのか「地下鉄の駅の地図をあげようか」と達者な日本語で話しかけてきた米国人ランナーもいた。若くてスタイルの良い女性が「私も日本人です。頑張りましょう」と言つて抜いていく。同じようなことを男性からも言われた。米国在住なのであろう。

五キロから二〇キロはゆるいアップダウンが続く。この間の五キロのラップは三二分台。もう少しペースを上げたいのだが、二六キロ過ぎの心臓破りの丘を考えると慎重になる。一五キロ位からランナー同士の前後が空いてきたし、ペースが遅いためKONDO JAPANの文字が読めるので沿道から盛んな声援を受ける。二〇キロ付近右側にヒラリー・クリントンが卒業したウエズリー女子大があり、学生が「KISS ME」「HUG US」とか書いたボードを持ち、身を乗り出して声を張り上げ、ハイタッチをしてくる。右耳が痛くなるほどの声援である。



中間点は二時間一六分。二六

キロからの心臓破りの丘は歩かないことをだけを考へてペースを落とし、とうとう歩かずに丘を越えた。周囲は前半飛ばしたランナーが歩いていて。三三キロからは下りになる。ポストン大学の学生の大声援があるが、ペースを上げられなかつた。三五キロ過ぎで今回のツアーのツアコンが待ち受けていた。のうち正規枠参加者は私を含め一一名。その一〇名は順調に走つて行つたとのこと。

ちなみに正規枠のタイムは過去一年半(実際には正式な月日が決められている)でフルマ

ラソンの記録が三四歳では男子三時間一〇分、女子三時間四〇分。あとは五歳刻みで、例えば男子四五〜四九歳は三時間三〇分。男子六〇〜六四歳は四時間をクリアしていなければならぬ。

このほか参加料が高くなるが、記録がなくてもツアー会社を通せば参加できることがある。男子の六五歳以上の参加者は四百人程度なので男子の殆どは三時間台か二時間台の記録を持つレベルの高いランナーということになる。

残り七キロを何とかペースアップしようとしたが、足が動かず一キロ七分台。ゴールのネットタイムは四時間四九分。順位は21149番。完走者22849人。私のナンバーカードは21145。参加申し込みの時のタイム順を基に男女の別なくナンバーを決めているようなので、順位とナンバーがほぼ同じということはまだまあなのであろうか。

今回はゆつくりシャワーを浴び、完走パーティーでは参加したマラソンツアアのメンバーとおいしいビール(ややほろ苦かつたが)を飲むことができた。

仏像彫刻に精魂込めて
個展にカルチャー講師も

井山 庄司(昭四二年政経)



現在私は仏像彫刻のカルチャー教室三カ所で講師を務めています。産経学園自由が丘、産経学園吉祥寺、イトーヨーカドー西新井です。早稲田を昭和四二年に卒業して、広島に本社のある東洋工業(現マツダ)に入社。企業マン一筋に過ごし、途中転職や企業倒産などいろいろと経験しましたが、そのひとつが仏像彫刻です。

仏像彫刻を始めたきっかけは、五一歳のとき体調を崩して入院したことでした。入院中ベッドの中でビジネスの世界から退く気持ちになり、しばらく絵でも描こうかと思いい、カルチャー教室のパンフレットを取り寄せました。そこで水彩画とともに仏像彫刻が目に入ったのです。

退院後勤務は継続し、定休日(月二回(一回三時間)、水彩画と仏像彫刻の教室に通い続けました。継続は力なりと申しましたが、制作した仏像は地藏菩薩に始まり、聖観音像、釈迦如来坐像、不動明王立像、阿弥陀如来立像などに広がりました。完成した仏像が増えたので、個展を開くことになりました。彫り始めて七、八年のことで、恥ずかしい気持ちもありましたが、作品を展示することに踏み切りました。

当初、個展では仏像を観て頂くだけと考えていましたので、展示しておいた仏像を「譲って頂けませんか」と云われたときは戸惑いました。売るつもりは無かったのです。どうしたものか、考えたすえ、納めることにしたのですが、このことが私にとって大きな転機になったようです。自分が精魂込めて彫った仏像とそれを観て下さったお客様の出会い・縁は、とても大切でありがたいことに思えたのです。お買い上げ下さった方はお祈りの対象として手を合わせていることを思うと、自然に仏像を彫る姿勢に変化が出たように思います。納めた仏像はもしかしたら最後はお寺に

納められ百年、二百年、三百年後まで残るのではないかと。そうだとしたら今自分が持っている全ての力を注ぎ、最上の仏像を彫りたい。

その姿勢が作品にも出たよう、約四年前、私の師匠が突然心筋梗塞で倒れたとき数多

人で半年前に始められました。従って個人個人全て指導内容が異なりますので、個別指導になります。女性が四割で楽しい教室です。

数年前の個展で或る来場者の方が「先生は得度されたのですか」と聞かれたことがありま

で受戒を受け「庄念」という法名を授かり、現在井山庄念で講師登録をしています。

私は仏像彫刻のほかに絵を描いています。今年も国展に入选し連続三年になります。日本水彩展も今年で三年連続入选し、昨年秋季にはパリのグランパレで開催されたアール・



アン・カピタルのサロン・ド・デッサン展に入选しパリに行ってきました。現在日本美術家連盟会員でサロン・ブラン美術協会の委員をしています。

今後の活動予定は九月七日から銀座の地球堂ギャラリーで絵画の個展(一五回記念展)を、十一月二十三日から銀座の大黒屋ギャラリーで能面の辻先生と私の二人で「能面と仏像彫刻展」を開催する予定です。ご興味がありましたら、ご高覧頂ければ幸いです。

約一〇年前五八歳で企業人を卒業して新しい人生を歩みつつ、二〇年後の自分の作品を楽しみに過ごしています。(写真は 文殊菩薩坐像です)

い弟子の中から私を教室の講師代行に指名されました。そんな縁で講師を務めることになったわけです。

仏像彫刻教室では初めて彫刻刀を持つ方から、一〇年以上の経験者までさまざまな方がいます。最高齢は八三歳のご婦

す。以前から仏教に深い関心がありましたので、私の家の菩提寺の住職さんに在家得度したいと相談をしてみました。総本山の比叡山に問い合わせたいたら、現在是在家得度の制度が無く、その代わりに授戒会があるとのこと。円頓授戒会

新入会・退会・住居変更のお知らせ

「名簿〔平成21年3月発行〕と会報40号〔平成21年4月発行〕」以降〔敬称略〕

〔新入会員〕

氏名	卒年・学部	郵便番号	住所	電話 FAX
河野美和子	昭34教育	個人情報につき不掲載		
秋山多美子	昭63教育			
池松 正之	昭57 商			
柘植 芳秀	平元政経			
高橋 義幸	昭43 商			
中島 史郎	昭59 法			
武田 一成	昭28 文			

〔退会会員〕

氏名	卒年・学部	理由	氏名	卒年・学部	理由
塚本 英明	昭30 法	個人情報につき不掲載			
中道 峰子	昭45教育				
溝上 英男	昭23 法				
山口 進吾	昭33 法				
阿部 俊夫	昭35政経				

〔住所変更〕

近堂 和明	昭47 商	
-------	-------	--

事務局だより (第四回)

定時総会を終え事務局スタッフに新たに武居達治幹事を迎えました。一同更にお役にたてるよう尽くしますので、引き続き会員皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

事務局の役目のひとつに、皆様の年会費の管理があります。毎年四月、定時総会案内時に払込依頼書を同封し、会員の多くの方々は一ヶ月の間に入金していただいています。しかしながら、半年過ぎてても払い込みの無い方が見受けられます。当該の方々に対しては不本意ながら個別に催促申し上げます。ことになりませんが、これが再三になることもあり、少なからずの経費が会の負担となっております。

年会費納入の依頼がお手元に届きましたら、ご多忙とは存じますが速やかに払い込みください。なおその際は郵便局・銀行を問わず払込人名をお忘れなく。毎年ご氏名不詳の入金が散見され、その会員名確認に苦勞しております。本年度分もいまだに氏名が判明しない方

からの入金が二件あります。以上お願いまで。
(加藤 隆夫/記)

会員だより

訃報



当会最長老の内藤隆福先輩(昭和六年理工)が老衰のため七月八日永眠されました。一〇四歳。
心からご冥福をお祈り申し上げます。

新編集委員紹介



かつて新聞・出版の仕事に携わって

いたこともあり、このたび会報作りのお手伝いをさせていただきましたことになりました。微力ではありますが、少しでもお役に立てるよう頑張りますので、よろしく願います。

(宮坂 尚利 昭四〇年法)